

## 「生物多様性神戸プラン」改定案にかかるご意見の概要と神戸市の考え方

○募集期間：2025年12月15日（月曜）～2026年1月16日（金曜）

○ご意見数：2通（5件）

※ご意見の内容は、趣旨を損なわない程度に要約しています。

### （1）文言の修正等にかかるもの

	意見の概要	市の考え方
1	生物展示センター目標 2030 (30,000 人) と掲載があるが、市内の生物展示センターはいくつあるのか。長田区の生物展示センターのみの目標なのか。	神戸市内の外来生物展示センターは、長田区の蒨藻島クリーンセンター敷地内にある 1 箇所です。目標値については、当施設の来場者数を記載しています。
2	明石川流域の PFAS 汚染について、関連計画も含めて、何も言及がない。 PFAS を含めて、「未だ規制になっていない新規化学物質を、自然環境の汚染を絶え間なく監視し、いちはやく対策を打つ」と 6 ページ目に生物多様性の 4 つの課題に、追加で明記すべきではないか。	PFAS については、本プランの上位計画である「神戸市環境マスタープラン」改定案 p.12 の基本方針 4 「安全・安心で快適な生活環境の維持」に、「法令等に基づく着実な環境監視の実施」として包含しています。
3	いかなごの不漁が続いているのは多様性の危機であり、食文化の危機でもあるが言及がない。いかなごは食物連鎖の底辺付近にあるので、影響があるのではないか。	基本戦略 3 で「海底耕耘・海洋施肥などの取組に対する支援や、栽培漁業による水産資源の維持増大を図ることで、豊かな海づくりを推進します」としており、いかなごの他のりや魚介類も含め、豊かな海域を目指してまいります。
4	市民の参画について 10 ページ目の基本戦略 2 自然の豊かさをともに学び、未来の担い手を育てる に、市民参画について「市民の意見を積極的に政策に反映させる」という記述を追加すべき。	本プランの上位計画である「神戸市環境マスタープラン」改定案 p.13 に「参画・パートナーシップによる推進」を掲げており、市民・事業者・行政全ての主体がそれぞれの役割を自覚し、立案を含め相互の協働・連携（パートナーシップ）によって取り組みを進めてまいります。 なお、本プランの改定にあたっては、昨年度から市民ワークショップや、市民・環境活動を行う団体・事業者へのアンケートを実施し、改定案を作成してきました。今後も市民・団体・事業者からのご意見を踏まえ、事業を実施してまいります。

(2) 具体的な事業等に関わるもの

	意見の概要	市の考え方
1	ヒアリ等について 神戸空港の国際化も含めて、外来種の侵入は今後も続いていく。市民による通報協力体制を整備する必要があるのではないか。	いただいたご意見も参考にしながら、今後本計画の内容や関連計画の内容などを踏まえ、毎年度の予算編成や事業執行段階で検討してまいります。